

## これまでの検討経緯と今後の検討に向けて

### 1. 検討の経緯

#### 第1回（9月30日）

##### 現状の紹介、検討の項目・進め方について

- 【検討項目】
- 環境と金融の関わり全般についての考え方
    - ・環境問題の解決に向けて、金融が果たすべき役割
    - ・金融機関が則るべき行動原則のあり方
  - 環境に配慮した投資の促進
    - ・投資家による環境投資の判断のために必要な情報提供のあり方
    - ・個人投資家による環境投資の促進
    - ・機関投資家による環境投資・社会的責任投資の促進
  - 環境に配慮した融資の促進
    - ・環境格付融資、環境対策への金利優遇融資
    - ・環境事業へのプロジェクトファイナンス
  - 環境に配慮した保険の促進
    - ・環境リスク（土壌汚染、気候変動等）に備えるための保険
    - ・環境配慮行動を促進するための保険

#### 第2回・第3回（11月6日、12月10日）

##### 関係者からのヒアリング

（主に、環境ビジネスの拡大に向けて必要な具体的な金融商品・サービスや政策についての提案）

- 【説明者】
- 第2回（主に資金供給側（金融機関）の立場から）
    - ・向畑委員（住友信託銀行）
    - ・伊東委員（三菱東京UFJ銀行）
    - ・関委員（損保ジャパン）
    - ・河口真理子氏（大和総研）
  - 第3回（主に資金需要側（環境ビジネス）の立場から）
    - ・日本商工会議所
    - ・三機工業（エネルギーサービス会社）
    - ・ジャフコ（ベンチャーキャピタル）
    - ・竹ヶ原委員（日本政策投資銀行）

## 2. 今後の検討に向けて

### 第4回（2月 2日） 今後の検討に向けて

- ・ これまであまり議論されていない検討項目（金融機関等の行動原則、機関投資家による環境投資、投資判断のために必要な情報提供）を中心に、今後の検討の方針等を議論。

### 第5回（2月25日） 個別検討項目についての審議①

### 第6回（3月下旬頃） 個別検討項目についての審議②

### 第7回（4月頃） 報告書とりまとめ

## ○金融機関・機関投資家の環境金融に関する行動原則

### ・ 行動原則に盛り込まれるべき内容

（例）投融資判断の際の考慮、投融資先の環境取組の促進、金融商品の開発、取組状況の開示

### ・ 多くの関係者の参加と継続的な取組を確保する仕組み

【参考資料1】責任投資原則（PRI）全文

## ○機関投資家の環境配慮投資への参加

### ・ 機関投資家に実際に取り組んでもらうための仕組みづくり

### ・ 受託者責任との関係

### ・ 具体的な投資の方法論

【参考資料2】環境配慮促進法の施行状況の評価・検討に関する報告書（中央環境審議会 環境に配慮した事業活動の促進に関する小委員会）抜粋

【参考資料3】海外事例の調査結果（(財)年金シニアプラン総合研究機構 報告書 抜粋）

## ○投資判断に必要な企業の環境情報の開示

### ・ 開示されるべき情報の内容と媒体

（例）有価証券報告書、環境報告書等  
気候変動に関わるリスクや機会

### ・ 投資家に利用しやすい形で提供される仕組み

【参考資料4】企業の環境情報の開示に関する状況について

【参考資料5】投資家に利用しやすい形での情報提供の一例（ブルームバーグのESG情報提供サービス）